

〔花きの新品種の導入および品種改良〕  
市販培養土によるハボタン、ビオラのセル育苗

吉岡孝行・椿 眞由巳・益永利久\*・宗 芳光\*  
(園芸部・\*環境部)

【要 約】ハボタン、ビオラのセル育苗に市販の培養土を使用すると、苗の生育には大きな差を生じ、培養土の違いは、その後のポリポット育苗期まで影響を及ぼす。

【目 的】

近年、花壇苗生産には、市販の培養土を使ったセル成形苗の利用が増えている。これに伴って、様々な形態の培養土が販売されているが、花壇苗のセル成形苗の生育に培養土が与える影響は大きい。そこで、これらを使用した場合の生育を明らかにする。

【方 法】

調査は、ガラス温室および露地で行った。供試品種はハボタン‘紅の華’。ビオラ、‘ソルベ イエローデライト’。播種日8月10日。鉢上げ日ハボタン、8月27日。ビオラ、9月2日。調査には市販培養土8製品を供試した。セル育苗中はガラス内に置き、その後は室外にて管理し、いずれも同一条件の追肥を施さない頭上灌水だけで栽培した。セルサイズはハボタン406穴、ビオラ288穴。鉢サイズ3.5号ポリポット。調査はセル成型苗および出荷期の苗を、それぞれ20株を使って行った。

【成果の概要】

- 1) 市販の培養土はピートモスに他の資材を混合して製品化されていた。均一性を欠くもの、素材が固まったもの、また、用土と種子の色が似ていてタネ播きする際に困るものなど、製品の違いは外観から大きかった。
- 2) セル育苗期間中に於けるガラス室内の平均気温は26.0℃で、最高気温は変動しながらも徐々に低下する傾向にあり(図1)、この間の日射平均値は38.7MJ/m<sup>2</sup>であった。
- 3) ハボタンおよびビオラの発芽率は、各製品とも90%以上であったが、ビオラの「GK花」の発芽率は68%であった(表1, 2)。
- 4) セル成形苗地上部の生体重は、製品の違いによる差が大きかった。特に、「MM」と「B2」は軽く、ハボタン、ビオラとも「T2」の1/5以下であった(図2, 3)。
- 5) ハボタンの草丈は「T2」で高く、次いで「GK花」>「BAM」の順であった。製品の違いは葉身長、葉幅長などの草姿にも現れた。セル成形苗の生育の差は、その後の株張り、株高、葉数にも影響を及ぼした(表1)。
- 6) ビオラの草丈は、「SS花」で高く、「T2」>「BAM」の順であった。セル成形苗の生育の差は、その後の株張り、株高、開花日、開花数にも影響を及ぼした(表2, 図4)。
- 7) 以上より、ハボタン、ビオラ苗のセル育苗に市販の培養土を使用すると、苗の生育には大きな差を生じ、培養土の違いは、その後のポリポット育苗期まで影響を及ぼすことが明らかになった。今後、この生育差が生じる要因を解明し、市販培養土の使い方を明らかにする必要がある。

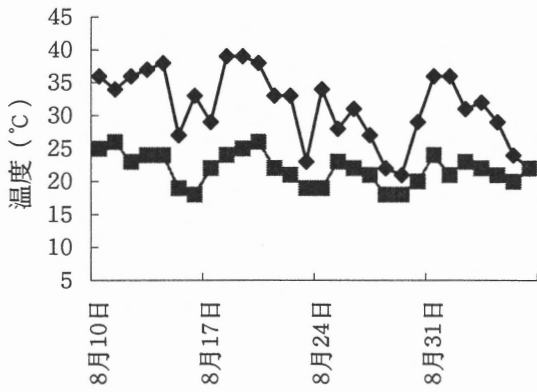


図1 室内の最高・最低気温

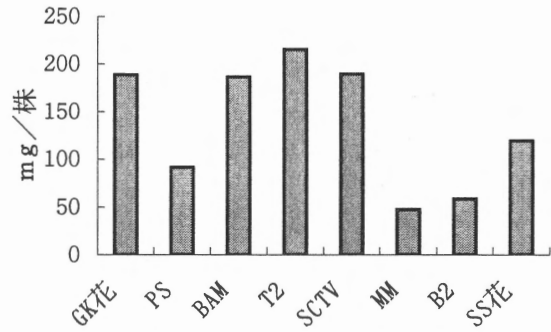


図2 ハボタンのセル成型苗地上部重

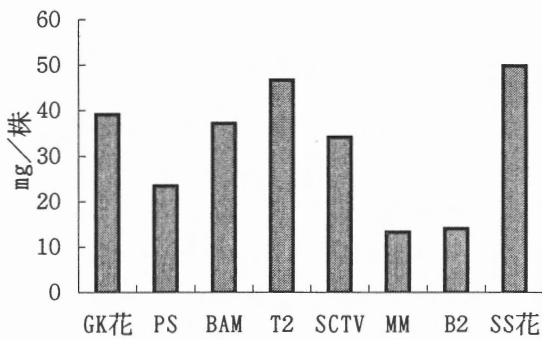


図3 ビオラのセル成型苗地上部重

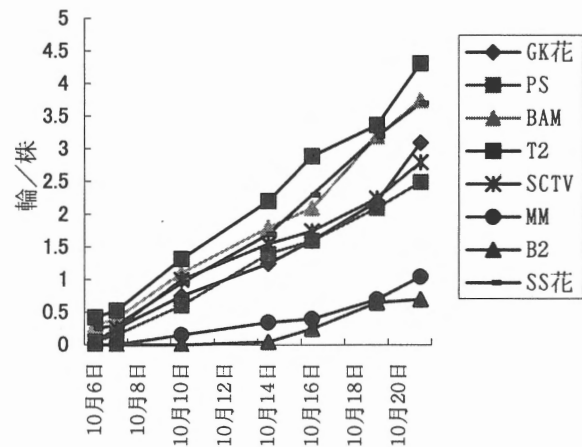


図4 ビオラの開花数の経時変化

表1 ハボタンセル成型苗およびポリポット苗の生育

培養土	セル成型苗				ポリポット苗		
	発芽率 (%)	草丈 (cm)	葉身長 (mm)	葉幅長 (mm)	株張り (cm)	株高 (cm)	葉数 (枚)
GK花	97	4.4(±2.2)	18.4	15.1	20.5	16.9	15.1
PS	99	3.3(±2.7)	11.5	9.1	20.3	17.3	12.9
BAM	97	4.5(±3.7)	18.0	13.9	21.0	18.1	14.1
T2	98	5.1(±1.6)	19.8	15.3	21.4	18.2	14.7
SCTV	91	3.2(±2.3)	11.5	9.2	19.9	17.0	12.5
MM	97	1.7(±2.5)	4.5	3.2	17.2	15.7	11.5
B2	91	1.7(±1.8)	4.4	3.3	17.4	15.8	11.5
SS花	99	4.1(±4.3)	15.8	12.1	19.4	16.5	13.9

注) 調査日 8月26日, 9月22日

表2 ビオラセル成型苗およびポリポット苗の生育

培養土	セル成型苗				ポリポット苗	
	発芽率 (%)	草丈 (cm)	葉身長 (mm)	葉幅長 (mm)	株張り (cm)	株高 (cm)
GK花	68	2.3(±0.4)	8.8	8.7	14.6	10.7
PS	94	1.9(±0.1)	7.8	7.3	11.0	10.0
BAM	95	2.6(±0.2)	10.4	9.6	13.1	9.9
T2	95	2.6(±0.2)	10.8	10.2	13.5	11.0
SCTV	94	2.3(±2.3)	9.5	7.8	13.1	9.8
MM	94	1.5(±1.5)	5.1	4.9	11.8	8.4
B2	95	1.5(±1.5)	5.3	4.9	12.3	9.0
SS花	94	2.8(±2.8)	10.1	9.1	14.7	11.9

注) 調査日 9月1日, 10月21日